

【 園全体評価 】

26年度の評価点	26年度の課題点	27年度の改善点
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対し笑顔で挨拶や対応が出来る。(3) ・遅番、早番での連絡がスムーズにできている。 ・未満児の園庭が出来子どもたちも喜び、他クラスの活動も見れ、関わりを持っていた。(2) ・事故、ケガの対策や薬のチェック表を書き、一人一人の意識が高まった。(2) ・反省をもとに、行事など改善した。(3) ・保育や行事をみんなで話し合い、協力して進めることが出来た。(4) ・希望する研修に参加できる。 ・保護者がいつでも園の様子を見る事が出来る。 ・誕生会で世界の事を伝える事ができた。 ・思いやりエピソードなど、子ども達の良い所を伝え合っている。(2) ・アンケートを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルの確認をする(4) ・未満児と以上児との交流を持つ。 ・行事など親への説明(理解されていない、意図が伝わっていない事があった。) ・退勤時間、出勤時間が守られていない。(3) ・会議など、一人一人が意見を持って発言する。 ・意識して、園全体に目を向ける。 ・定時に帰ることが、難しかった。(4) ・連携、協力体制。 ・病院へ行くケガがあった。保育士の立ち位置を見直す。 ・コーナーの見直しや環境性の工夫。(6) ・報告、連絡、相談不足で共通理解が出来ていない時があった。 ・掃除、消毒、整理整頓をもっとこまめに行う。(5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定時にみんなで帰る。(5) ・仕事を効率よく進められるよう、時間を有効に使う。 ・気になる子やアレルギー児の個別のケースワークが必要。(3) ・早番、遅番の勤務の確認。 ・一人一人が意識を高めていく。 ・担当クラス以外との協力。(4) ・新制度について、共通理解を持つ。教育的分野の進め方。(3) ・見守るソフトをもっと保育に活かす。 ・噛みつきや、ケガの予防に努める ・環境の見直し、工夫。(5) ・掃除、整理整頓(6)

【 個人評価 】

26年度の評価点	26年度の課題点	27年度の改善点
<ul style="list-style-type: none"> ・体調管理に気を付けた。(2) ・様々な保護者の育児相談に応じた。(2) ・提出物の期限を守った。 ・保護者とのコミュニケーションや情報を交換することが出来た。(6) ・子どもの自主性や得意分野を理解し、一人一人がかたよらず活躍できるようにした。 ・行事に向けて見直しを持って準備できた。 ・報告、連絡、相談 ・10分前出勤を心がけ、遅刻する事がなかった。(3) ・子どもの言葉を受け止め、アイデアを活かせるよう努めた。 ・子ども様々な事に興味を持てるような雰囲気作りにした。 ・職員間で話し合いを多く持つようにした。(3) ・分からない事は聞いたり調べたりした。 ・子ども一人一人とスキンシップをとるよう努めた。(3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢差の保育に対する安全性の認識に欠けていた。 ・園全体の関わりが少なかった、目を向けられなかった。(4) ・園や子育て支援事業についての説明や見学への対応に自信がない。 ・ゆとりのない保育(5) ・せかしたり、口調が強くなってしまう時があった。(10) ・コーナー、ゾーンの中身を興味があるものに変えていくべきだった。(2) ・後輩への指導が出来なかった。 ・子ども達の状況を見てスムーズな保育が出来なかったため、状況の判断力、行動力を身に付けたい。(2) ・ピアノを頑張る。 ・会議などの自分から意見を言う。(2) ・新制度についての理解。(4) ・保育の質を深める。 ・アレルギーに対してもっと勉強するべきだった。 ・障害児保育の知識不足。(2) ・見守りが足りなかった。(2) ・テーマへの取り組み。(2) ・他クラスへの流れなど、理解できていない。 ・噛みつきやひっかきが多い時間帯の保育の工夫。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者らしい言葉遣い、心配りをする。(4) ・園全体に対する関わりを増やす、目配せをする。職員間で協力をする。(8) ・時間の使い方、見直しを持つ。 ・気持ちにゆとりを持つ。(9) ・より細かい保育。 ・人任せにせず、保護者へ説明が出来るようにする。 ・新制度や保育会の動向へ注意を払い、自ら学ぶ意識を高める。(3) ・職員間での情報の共有。 ・コーナー、ゾーンを子どもの様子を見て変えていく。(6) ・状況を把握し、適切に保育を進めていく。 ・ピアノを練習する。 ・掃除、整理整頓 ・保育一日一日の見直し。(2) ・積極的に意見を言う。(2) ・保育を工夫する。 ・前年度の反省を活かしていけるようにする。 ・保育の質を高める勉強、努力をする。 ・専門性、情報収集(認定子ども園など) ・ニュースや新聞、保育雑誌にもっと目を向ける。 ・定期的にテーマの関わり方を考え、環境に掲示する。 ・保護者の悩みや思いを受け止め、的確なアドバイスが出来るよう努力する。 ・異年齢児との関わりを深めていく。